

SA 連協 設立 30 周年記念誌

—シルバー通信特集号—

シルバーアドバイザー憲章

私たち、シルバーアドバイザーは、永年にわたって
貴重な知識や経験、技術を培ってきたことに誇りをもち、
絶えず自らの生き甲斐の高揚につとめます。



大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会

目次

P

理事長挨拶	大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会理事長 新鞍 清彦	2
祝 辞	大阪府知事 吉村 洋文	3
	認定 NPO 法人大阪府高齢者大学校理事長 和田 征士	
	NPO 法人大阪区民カレッジ・大阪府民カレッジ理事長 北田 一誠	
	認定 NPO 法人大阪北部コミュニティーカレッジ理事長 猪谷 義弘	
	NPO 法人シルバーアドバイザー・ネット大阪理事長 村松 秀明	
	大阪府高齢者大学校 校友会会長 砂畑 仁之	
連協あゆみ	大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会沿革	7
地区のあゆみ	北ブロック (5 地区)	10
	中ブロック (8 地区)	12
	南ブロック (5 地区)	16
部門別の歩み	渉外部	19
	交流活動部	
	広報部	
ボランティア	北ブロック (5 地区)	22
施設の声	中ブロック (8 地区)	24
	南ブロック (5 地区)	28
会員の声	北ブロック (5 地区)	30
	中ブロック (8 地区)	32
	南ブロック (5 地区)	33
大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会の新規事業報告		36



次の10年の活動に向かって

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会
理事長 新鞍 清彦

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会が創立30周年を迎えるにあたり、ご挨拶を申し上げます。

創立の1990年（平成2年）現在2020年（令和2年）の間は、激動の時代で多くの事件がありました。その中でもIT革命がはじまり、社会システムが大きく変化しつつあり、令和2年になっても新型コロナの為、さらに社会が変わろうとしている中、我々の活動の柱のボランティア活動も大きな変化が起きています。3月よりの新型コロナによりほとんどの社会貢献活動は中断しており、令和2年度の報告は令和2年3月までの活動として、それ以降は次号に譲ることにします。

■大阪府SA連協は「地区SAの活性化への貢献活動」が大きな目標です。

その具体化への方策は以下の項目を主眼として行動してきました。

- 1、地区SAが元気になるように作られた組織であることを念頭に置いて考えて行動
- 2、地区SAの持っている情報を交換する事によるお互いの組織の相乗効果
- 3、最近とみにボランティア活動は有償（最低交通費）による活動が要求される時代
- 4、地区SAが不足知識を、講演等を行う事でリーダーたる新しい知識の獲得
- 5、大阪府高齢介護室と情報交換に努める。（行政の動向を察知する）

※以上の5項目を念頭に具体的な組織運営に努め、以下の事業を発展させてきました。

- 1、ATCの親子おもちゃ教室を11月の定例行事にして各地区から参加するようにして、事業受託をしておもちゃの技術交流を図った。
- 2、理事会の前に新しい知識を得るために1時間の講演会を連続して開催した。
- 3、地区SAの活動の発表会を行い情報交換した。（地区SAの活動を把握する為）
- 4、新規に健康管理の部会を設けて、健康管理の重要性を伝える努力を行っている。
- 5、資金的に余裕を持つために外部からの委託事業を行い、組織の活動資金とした。
- 6、助成金事業を積極的に取り組み何回となく取得に努めてきた。
- 7、機関紙に広告を取り入れ、組織の資金的な助けとした。
- 8、イベント獲得の為CSR（企業の社会的責任）を前面に出し、企業廻りでイベント獲得に努めた。

最後に会員数の減少の報告をしなければなりません。過去4年の状況は、平成29年は832名、平成30年805名、平成31年は767名、令和2年は672名となりました。会員減少の大きな原因は「SA豊中、SA松原」の脱退などもありますが、新規会員が増えないことが大きな原因と思われます。これも皆で新規会員の増加に努めるしかありません。2年前にはSA東大阪を新規に立ち上げましたが、組織全体が役員はもちろんの事、会員全体に高齢化が進み、府SA連協の活動自身が転換期を迎えております。今後は皆様の知恵を結集して、元気に自分たちの為に次の10年の活動に向かって組織を強



化して、社会貢献活動に取り組んでいきましょう



設立 30 周年を祝して

大阪府知事
吉村 洋文

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会が発足 30 周年を迎えられますことを心からお慶び申し上げます。昭和 63 年に開設されたシルバーアドバイザー養成講座の修了生の皆様が平成 2 年に立ち上げられ、30 年間という長きにわたりボランティア活動、地域福祉の推進に積極的に取り組んでこられましたことに心から敬意を表します。

さて、大阪府では、新型コロナウイルス感染症による社会へのダメージを最小限に抑え、大阪の再生・成長に向けて取り組むべき方向性を明らかにする、新戦略の策定を進めているところです。

この戦略により、大阪のさらなる成長と、2025 年大阪・関西万博の成功、SDGs（持続可能な開発目標）の達成へとつなげていきたいと考えており、引き続き、健康・長寿社会の実現に向け、取り組んでまいります。

高齢者が生きがいを持ちながら、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、市町村や関係機関、地域や NPO 団体等の皆様とともに、全力で取り組んでまいりますので、一層のご理解ご協力をお願い申し上げます。

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会の皆様には、昨年から続く新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた取組にご協力いただき、深く感謝申し上げます。

ウィズコロナの新たな形に対応し、感染防止対策と健康づくりや地域の暮らしを豊かにする活動の両立に取り組んでいただいておりますが、これからも知識や経験を活かし、仲間づくり、世代間交流、地域福祉の推進にと、大阪府内で活動の輪を広げ、大阪府の活力の源として重要な役割を担っていただくことを期待しております。

発足 30 年を契機としまして、ますますのご活躍を祈念いたしますとともに、皆様のご健康、ご多幸をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。





認定 NPO 法人大阪府高齢者大学校

理事長 和田 征士

創立 30 周年記念おめでとうございます。

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会の皆様、創立記念日を迎えられる心よりお祝い申し上げます。19 地区を擁し 672 名の会員で大阪府民のために活動されています。会員は「シルバーアドバイザー養成講座の修了者」を中心に構成され、大阪府内全域でのネットワークの輪を広げ、地区毎に SA 組織を設置し、地域でのボランティア活動に励まれ、社会福祉協議会・地方自治体との連携・協働を推進し地域の福祉活動、まち起こし活動を継続してやっておられることに対して感謝するとともに新たな敬意をもって今回の創立 30 周年をお祝いしたいと思います。

コーダイで毎年アンケート調査をしていますが、60%の受講生がボランティア活動をしている、今後やりたいと答えています。

受講生の状況を言いますと前向きでない人も多いのですが、今後のコーダイの進むべき方向を考えると社会への参加、貢献活動はコーダイにとって重要指針であり今後共継続して実施し、少しでも府 SA 連協さんを応援できるようにする所存です。

NPO 法人大阪区民カレッジ・大阪府民カレッジ

理事長 北田 一誠



大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会の 30 年にわたる活動に敬意を表するとともに、今後の益々のご活躍をお祈りいたします。

少子超高齢化社会を迎えて、私たちが行政や地域の諸団体と協同して地域を支える担い手としてより活動することが求められています。現在、大阪区民カレッジは平成 25 年に 3 校でスタートして 7 校に、また、大阪府民カレッジは平成 28 年度府下に開校して各市町に 10 校、地域密着型カレッジは計 17 校に拡大しております。両カレッジは大阪府より「シルバーアドバイザー (SA)」養成講座と認定されており、約 700 名の受講生が地域の学習、仲間づくりそして社会参加活動を実践しています。また、両カレッジは講師、運営者、受講生の 3 者 3 様のボランティア活動にて成り立っております。ボランティアとは「共にあゆむもの」「あなたの想いを活動に」私たちの健康づくり、生きがいくくり。であります。このように多くの方々が集っているのは、設立以来、志を同じくする貴協議会の方々はじめ皆様からのご支援ご協力の賜物と感謝しております。カレッジ修了生はシルバーアドバイザーとして永年培われてきた知恵、経験その豊かさを活かして、貴協議会はじめ各地域で活動しております。今後ともよろしくご指導のほどお願いいたします。さて、新型コロナウイルスの感染症で緊張した日々を送っていますが、ワクチンや治療薬ができるまで、折り合いをつけていかねばなりません。今こそ、仲間とのつながり、お互いに分かり合え、支え合っていくことが大切になっています。大阪府内全域でのネットワーク活動の輪を広げ、共にこの事態を乗り切っていきたいと願っています。



「大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会設立30周年を祝して」
認定NPO法人 大阪府北部コミュニティーカレッジ
理事長 猪谷 義弘

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会設立30周年を迎えられ心より祝い申し上げます。

私が、大阪府シルバーアドバイザーの活動に関わったのは、「大阪府高齢者大学校」立ち上げ時で、当時、現・新鞍理事長始め、私と活動を共にした故石渡氏が受講されていた時だったと記憶しています。その後ゼミナールで、ご縁があり「大阪府北部コミュニティーカレッジ」設立時に、故石渡氏から「SA認定講座を継続したい」との強い要望をいただき、健康福祉科（大阪府SA認定講座）を開講して以来、早いもので当カレッジの7期卒業生が貴会で活躍しておられます。

また、地域では民生委員・児童委員・主任児童委員や校区福祉委員会、各種ボランティア団体などでも活動しておられます。

令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大による活動自粛を余儀なくされ、今迄通りの活動が難しくなってしまいましたが、ウイズコロナ（コロナと共存）の時代を工夫しながら、シニアのアドバイザーとして、新しい生活様式と共に活動方法を目指していただき、多くの大阪府民の高齢者の模範として益々社会貢献活動に力を注いでいただくことを願っています。

微力ながら今後も、貴会に一人でも多くの方が入会して頂けるよう、卒業生を輩出してまいる所存です。結びに、大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会が、この記念すべき設立30周年を契機に、今後益々発展されますよう、併せまして、皆様方のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

NPO 法人シルバーアドバイザー・ネット大阪
理事長 村松 秀明



この度は大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会様の30周年を心からお祝い申し上げます。SA ネット大阪は貴団体から生まれた法人です。子どもが親の30歳のお祝いをするような身内からの言葉になりますが、

お祝いの言葉を一言、書かせていただきます

30年の間、諸先輩が「SA」の名前のもと、さまざまな社会貢献活動を続けられてきた事に、ただただ敬服の念を持っております。当法人に対しても日頃から、様々なご指導も頂き、特に貴団体の地区の会長様が当法人の理事にも就任頂き、又歴代理事長には監事にも就任頂き運営の健全化にご助言を頂いております事、貴団体との密接な関係を実感する次第です。

今また新たな課題も有る中で、貴団体と当法人の、より強固で新しい関係作りをしていきたいと思っております。高齢者がこれからも元気に活動していく為に、親と子が共に力を合わせて、SAの活動の益々の充実と拡大を図っていければと思います。

貴団体の「SA吹田」には、昨年からは子ども健全育成指導者養成講座でコラボの活動をさせて頂いております。又国際交流活動も、お互いに情報交換をしながらコロナ禍での活動を模索しているところです。これからの活動にはコロナの影響も考え、試行錯誤を続けながら、新しい活動様式を共に作って行きたいと思っております。

どうぞ会員皆様が益々元気であられますよう、又アクティブに活動されていく事を期待し、これからも一緒に進んで行きましょう。



大阪府高齢者大学校 校友会
会長 砂畠 仁之

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会 30周年、誠におめでとうございます。
さて、一口に、30年と申しますが、何かと、運営上、ご苦労があった事と推察いたしますが、各地域に貢献され、数々の表彰を受けられました事は、私どもにとりまして誠に誇らしく、範といたす処であります。今現在、校友会は、高大同窓団体の8団体で運営致しておりますが、貴団体は、創立当初より参加頂き、何かと積極的に運営上ご尽力賜り、校友会の今日があると感謝致しております。貴団体の現会長の新鞍清彦氏と私は、大阪府高齢者大学校のスタート時より同級で、因縁浅からぬ仲でありまして、毎月の校友会役員会で顔を会すわけですが、同級時と変わらぬ元気さには、驚嘆いたすと同時に、誠に喜ばしい事であります。高大も、シルバーアドバイザー科目には力を入れており、有意な人材が輩出される事と存じます。今後とも貴団体が益々のご発展されることを祈念致しまして、30周年の祝辞と致します。



2020年度大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会役員

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会のあゆみ①

大阪府 SA 連絡協議会の現状（令和2年4月現在）

役員名簿（敬称略）

理事長 新鞍 清彦 （大阪市）	渉外部長 鈴木（枚方） 交流活動部長 澤（茨木） 広報部長兼部会長 大川（藤井寺）	健康管理部会長 笠原（大阪市） おもちゃ部会長 島田（守口） 歌体操部会長 梶山（大阪市） ブログ研究部会長 島野（東大阪）	事務局長 中島（茨木） 事務局次長書記 笠原（大阪市） 事務局次長書記 元坂（河内長野） 事務局次長 小川（吹田）	会計 下川（高槻） 会計監査 中川（いずみ） 顧問 木場（大阪市） 事務局補助 宮地（池田）
------------------------------	--	---	--	---

役職 年度	理事長	副理事長兼	総務	会計/会計監査
平成22年	和佐 義顕 （いけだ）	渉外委員長 大川（藤井寺） 企画委員長 樋渡（高槻） 広報委員長 石川（大阪市）	事務局長 小川（吹田） 事務局次長 木場（大阪市）	会計 中川（いずみ） 会計監査 大津（泉州南） 立石（はびきの）
平成23年	和佐 義顕 （いけだ）	渉外委員長 辻（大阪市） 企画委員長 中川（いずみ） 広報委員長 松本（茨木） 各種団体理事 安居（箕面）	事務局長 松田（はびきの） 事務局次長庶務 木場（大阪市） 事務局次長書記 福武（ひらかた）	事務局次長会計 高林（四条畷） 会計監査 大津（泉州南） 大川（藤井寺） 顧問 小川（吹田）
平成24年	松本 勉 （茨木） 支援活動部長 木場（大阪市） 副部長 加藤（吹田）	渉外委員長 笠原（吹田） 企画委員長 中川（いずみ） 広報委員長 上山（堺）	事務局長 小川（吹田） 事務局次長兼 支援活動部長 木場（大阪市） 事務局次長書記 福武（ひらかた）	事務局次長会計 高林（四条畷） 会計監査 大川（藤井寺） 松田（はびきの） 顧問 和佐（いけだ）
平成25年	松本 勉 （茨木）	渉外委員長 笠原（吹田） 企画委員長 中川（いずみ） 広報委員長 上山（堺） 事務局次長兼 支援活動部長 木場（大阪市）	事務局長 森田（とよなか） 事務局次長庶務 下田（箕面） 事務局次長書記 石渡（寝屋川）	事務局次長会計 高林（四条畷） 会計監査 松田（はびきの） 福武（ひらかた） 顧問 小川（吹田）

年度 \ 役職	理事長	副理事長	総務	会計/ 監査
平成26年	松本 勉 (茨木)	企画委員長 下田 (箕面) 広報委員長 織田 (堺) 事務局次長兼 支援活動部長 木場 (大阪市)	事務局長兼 渉外委員長代行 森田 (とよなか) 事務局次長書記 新鞍 (大阪市)	事務局次長会計 高林 (四条畷) 会計監査 松田 (はびきの) 福武 (ひらかた) 顧問 小川 (吹田)
平成27年	笹原 義正 (吹田)	渉外部長 松田 (はびきの) 交流活動部長 木場 (大阪市) 広報部長 織田 (堺)	事務局長 森田 (とよなか) 事務局次長庶務 島貫 (高槻) 事務局次長庶務 中川 (いずみ) 書記 松浦 (ひらかた)	事務局次長会計 高林 (四条畷) 会計監査 松本 (茨木) 下田 (箕面) 顧問 小川 (吹田)
平成28年	笹原 義正 (吹田)	渉外部長 新鞍 (大阪市) 交流活動部長 木場 (大阪市) 広報部長 織田 (堺)	事務局長 中島 (茨木) 事務局次長庶務 下川 (高槻) 事務局市長庶務 松尾 (とよなか) 書 記 杉元 (松原)	事務局次長会計 高林 (四条畷) 会計監査 松田 (はびきの) 中川 (いずみ) 顧問 松本 (茨木)
平成29年	新鞍 清彦 (大阪市)	渉外部長 鈴木 (ひらかた) 交流活動部長 中島 (茨木) 広報部長 松本 (茨木)	事務局長 木場 (大阪市) 事務局次長 元坂 (河内長野) 事務局次長 戸田 (箕面) 書記 杉元 (松原)	会計 下川 (高槻) 会計監査 中川 (いずみ) 高林 (四条畷) 顧問 笹原 (吹田)
平成30年	新鞍 清彦 (大阪市)	渉外部長 鈴木 (ひらかた) 交流活動部長 今井 (吹田) 広報部長 大川 (藤井寺)	事務局長兼書記 木場 (大阪市) 事務局次長 戸田 (箕面) 事務局次長 元坂 (河内長野)	会計 下川 (高槻) 会計監査 中川 (いずみ) 高林 (四条畷)
令和1年	新鞍 清彦 (大阪市)	渉外部長 鈴木 (ひらかた) 交流活動部長 今井 (吹田) 広報部長 大川 (藤井寺)	副理事長兼 事務局長 中島 (茨木) 事務局次長書記 元坂 (河内長野) 事務局次長書記 笠原 (大阪市) 事務局次長 澤 (茨木)	会計 下川 (高槻) 会計監査 中川 (いずみ) 高林 (四条畷) 顧問 木場 (大阪市) 事務局補助 戸田 (箕面)

大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会のあゆみ

＜府連協の10年を振り返って「2010年」から現在まで＞

年月日	活動・行事
平成22年1月	<ul style="list-style-type: none"> ●今年の運営方針の最初に、加盟の23地区を3つのブロックに区分、淀川依り北を北ブロック、淀川依南から大和川までを中ブロック、大和川より南を南ブロックとした。各地区SAの活性化、SA連協の連帯感、一本化を醸成する為に、ブロック制を導入した。 ●会則の改定により、理事会の構成メンバーの数を減らしスリム化し組織は委員会・部会活動と役割分担をわかりやすくシンプルにし、SA全体の戦略、戦術を練る委員会と具現化した部会活動とに明確化した。
平成22年3月	<ul style="list-style-type: none"> ●第1回アクティブシニア歌体操フェスタ開催（吹田市武道館にて）
平成22年5月	<ul style="list-style-type: none"> ●都市環境部会（仮称エコップ）の設立。
平成23年3月	<ul style="list-style-type: none"> ●HP部会では、昨年7月から始めたブログ勉強会にHP部会のメンバーが熱心に参加され、「活動ブログ」が18の地区でスタートした。
平成23年12月	<ul style="list-style-type: none"> ●支援活動部は次代のリーダーを育成するため、各地区2名ずつ選出していただき第1回歌体操中央研修会を開催した。現在も持続中である。
平成24年1月	<ul style="list-style-type: none"> ●地区SAへの入会は、これまでSA講座の修了者に限定していたが、趣旨に賛同するという文言を付加した改訂を行いオープンにした。
平成25年7月	<ul style="list-style-type: none"> ●府連協全体で初めて取り組む「子供実験教室&おもちゃフェステバル」が、いずみシティプラザで開催された。
平成26年8月	<ul style="list-style-type: none"> ●今年も福祉医療機構の助成金で「認知症患者とその家族を支援する」というSA本来の社会貢献活動を推進できたことと同時に「歌体操中央研修会」を通じて府SAと地区SAとの繋がりを強めることができた。
平成27年5月	<ul style="list-style-type: none"> ●組織の見直し、これまでは渉外、企画、広報の3委員会と支援活動部の体制できた。これを渉外部、交流活動部、広報部の3部体制に改めた。
平成28年6月	<ul style="list-style-type: none"> ●会則の改定により福祉IT部会、都市環境部会を渉外部所管とした。交流活動部は支援活動部会、歌体操部会、おもちゃ部会の3部会。 シルバー通信に広告掲載を開始した。
平成29年7月	<ul style="list-style-type: none"> ●高大3階の広報コーナーに府SA連協専用のラックを設置し、地区SAの広報チラシを置き認知度を高め、新入会員の増加を図る様務めた。
平成30年3月	<ul style="list-style-type: none"> ●健康管理部会設立●SA東大阪が再度立上げを計画し、3/25(日)に「東大阪手作りおもちゃフェスタ」を実施した。●都市環境部会解散
平成31年3月	<ul style="list-style-type: none"> ●支援活動部会解散 ●福祉IT部会終了
平成31年4月	<ul style="list-style-type: none"> ●東大阪市がSA東大阪を再結成され、府連協に入会された。
令和1年7月	<ul style="list-style-type: none"> ●理事会予定時間を前半はSAの講演会に使い、後半を報告会とする。
令和2年5月	<ul style="list-style-type: none"> ●コロナ禍のため令和2年度の定期総会は書面による議決権行使で実施。また歌体操フェスタ他ほとんどのイベントが中止に追い込まれた。
毎月	<ul style="list-style-type: none"> ●各部会は毎月定例会を開催。おもちゃ部会は各月に開催。
年間	<ul style="list-style-type: none"> ●ブロック交流会は（北・中・南）地区が持ち回りで年1回開催する。
年間	<ul style="list-style-type: none"> ●歌体操フェスタは、ブロックが持ち回りで年1回3月頃開催している。

各地区のあゆみ 北ブロック 1

①SA いけだ

昨今の状況は、他の地区 SA 同様に、10 年前に比して、年月のみが過ぎ去り、世話人の高齢化と固定化が進み、若返りも進まず、活動に従前の様な勢いが失われつつあるように思います。シルバーアドバイザー憲章にうたわれている理念も、あまり意識しなくなり、単なるサークル的な存在になりつつある、気がしないでもありません。これも時代の流れかも知れません。平成 24 年 4 月に始まった当会独自の「おもちゃ教室」は、発足当時から、先輩の石井さん方々の“さくらんぼの会”の流れを今日まで継承し、「子ども花まつり」「五月山春フェス」に参加へと、活動先を広げていますが、歌体操は研修会を企画し、市民の参加を得るも、続かず断念しました。高齢者・こども・障がい者支援活動では、年 1 回ですが、平成 23 年から 29 年までは、“さつき科学フェア”（五月丘小）、平成 26 年からは、池田病院夏祭り、「ぼこフェス」受付応援（文化会館）。平成 28 年 9 月からは、毎月 1 回障がい者支援施設”三恵園“で「見守り&陶作支援活動、平成 29 年からは、老健・介護施設でのレクレーション活動が加わり、幅広い福祉活動を展開しています。このような福祉活動は、保育所、保健所、特養や社協からのスポット要請の病院付き添い、車いす送迎介助、デイサービス利用者の観劇付き添い、ガイドヘルパー、一時保育（だっこ）の応援など、「なんでもあります隊」としての実績の上にあります。平成 27 年には、設立以来の地域福祉貢献活動が認められ、大阪府知事賞の荣誉に浴しました。今後の活動では、単独でなく、各種ボランティアグループと連携を組んだりして、福祉に限らない活動するなどを考えたい。例えば、カーリンコン運動の導入、市民カレッジ創設構想など。今後も、知事賞に恥じない様、会員の皆様とやれる時、無理をしないで、やれる範囲で楽しく活動を続けていきたいと思っています。

②SA 箕面・豊能

●SA 会員各自が「穏やかで生き甲斐のある生活」を目指して、楽しく元気に活動を行い、その結果として社会貢献や地域貢献に繋がる事を目標に「高齢者や障がい者の福祉の増進」「子どもの健全育成」等の一助となるボランティア活動を行ってきた。

●2011年に「手づくりおもちゃ」「いきいき農園」を、2012年に「いきいき歌体操」2016年「カーリンコン」を立ち上げ、従来からの「歌声ひろば」を加え活動し多世代との交歓で活力と元気を得ることができた。しかし活動メンバーの減少する中「いきいき農園」を2013年に閉園することになった。

●箕面市助成金・交付金を受け、「いきいき歌体操の立ち上げ」と「いきいき歌体操教室」をまた、「ちぎり絵教室」「こけ玉教室」を開催した。

●広報面では、箕面市社協の行事（いきいき祭り・新春茶話会など）市民活動センターの行事（NPOフェスタなど）や地域の行事に参加し、チラシやポスターを各公共施設への配架や社協・市民活動センターの発行誌（サポーター情報誌）とホームページに掲載し知名度アップに努め、SA箕面豊能のブログで活動内容の発信も行った。会員の力の発揮で活動ができ、その結果行政や社協・各種団体をはじめ、一般の方々からも温かい声援を頂ける団体となった。

●新型コロナ感染禍の中、「今できること」を皆で考え、これからはリスクを受け止めつつ新型コロナと共存する考えから、新しいボランティアの方法などを考えて行きたい。



各地区のあゆみ 北ブロック 2

③SA 吹田

SA 吹田も大阪府老人大学が廃止され高齢者大学校に移行前、13年前には会員は90名程度で推移していました。このころから SA 吹田の活動が活性化し、施策も次々打ち出され、直近の10年間で会員が100名以上増加して、昨年度には212名に達しました。

10年前に始まった、大阪府の先導モデル支援事業で、SA吹田が認可され、100万円の助成金を受け“心ふれあいネット”の名称で活動を開始しました。このことが起爆剤になり SA 吹田の活動が飛躍的に発展しました。

歌体操関係

吹田市社会福祉協議会と共同で「歌体操ボランティア養成講座」を8年間継続して実施しています。この結果、その中の有志30名ほどが SA 吹田の会員となり、老犬時代からの会員20名とともに総計50名で歌体操の活動を支えています。

おもちゃ関係

SA 吹田独自の活動として「おもちゃ学校」を設立し6年間継続して運営しています。一般市民から受講者を募集して、おもちゃづくりの指導者を養成しています。受講者は有志全員が SA の会員になるため現在60名ほどが SA 会員として活動しています。

SA 吹田の会員増加は歌体操とおもちゃ部門で新しい人を募集して養成した結果です。

福祉教育・国際理解教育部門

この両部門はいずれも20年間の活動実績があり、地味ながら粘り強い活動が評価されています。SA 吹田の重要な活動として青少年の教育部門として広く展開されています。

④SA 茨木

会員数は、10年前は121名でしたが現在は108名と勧誘努力をしていますが年々漸減しております。そして平成25年には創立25周年記念式典の開催と記念誌を発刊しました。交流活動部としては歌体操、おもちゃ、オカリナ、バルーンアート部が活動していますが残念ながらボランティア喫茶、マジック、国際交流、パソコン部が廃部になりました。勧誘手段として歌体操及びおもちゃの部員は、茨木市民を対象とした「歌体操及びおもちゃボランティア養成講座」(茨木市民活動センター主催)により部員増強を図ってきました。特に歌体操は隔年ごとに開催し、2019年で6回目となり、現在の部員数(67名)の半数近くは養成講座修了生等になりました。又、現在のコロナ禍においてYouTubeを活用しての(茨木市民活動センター主催)勧誘を実施しました。各部会のボランティア活動に対して茨木市社会福祉協議会善意銀行から活動実績に基づいて助成金を受けております。

これからの課題は部員、指導者が高齢化し、部員数の減少またボランティア環境の変化(趣味、価値観の多様化、働く年齢の高齢化、ボランティアの有償化など)により新規ボランティア入会者を多く見込めない中、部員の育成とどのようにして世代交代を図っていくかということです。



各地区のあゆみ 北ブロック 3

⑤SA 高槻

10年前 SA 高槻の会員数は90名だった。厚生労働大臣から「長年にわたりボランティア活動の実践を通じて地域社会づくりに貢献」したと表彰を受けたのもこの年だった。現在は60名で、会員の漸減傾向は続き、高齢化が進んでいるのは他地区 SA と同様である。組織の劣化を防ぐには、構成メンバーの若返りを図る必要があるが、それが手詰まり状態にあることも共通の悩みである。社会全体でみればボランティアをする人の数が減っているわけではないので、活動形態・グループの多様化が大きな要因の一つと考えられる。そうした中で私たち SA 高槻は、この十年、活動分野多様化に努めるとともに、ONCC やその他市民講座修了者の勧誘に努力を重ねてきた。活動の二本柱である歌体操とおもちゃでは一定の成果はあったが、全体としては残念ながら成功したとは言いがたい。やはり先に述べたボランティア団体の多様化が進んでいると考えざるを得ない。ただ新規会員の加入が最重要課題であることは変わらない。

この数年、会員間の結束（絆）が強まっているのは喜ばしい。SA 高槻は隔月に定例会を開いているが、出席率は常に50%を超えている。会員数60名以上の地区 SA の中では出席率は高いと聞いている。コロナ禍で活動が停止中、医療関係者への寄金を有志者に募ったところ、25万円以上が集まり、寄付先の高槻市と大阪医大から礼状を頂いたのも、会員間で信頼と風通しの良い土壌が育成された結果ではないかと思う。

より良い活動のためには、より安定した心身の保持が必要との観点から、本年度総会で「SA 高槻シルバーサロン交流会」を月一回程度開くことが決定した。趣旨は、超高齢化社会の到来とそれへの対応について、各自が思いや生き方を自由に話し合い、何れは会員の相互扶助を目指すというものである。（テーマ例：終活、フレイル、独居者の食事など）

各地区のあゆみ 中ブロック 1

①大阪市 SA

「平成23年～25年3月までは辻昌久会長が務め、平成25年4月から新鞍清彦会長が務めている。その間組織の運営は「手作りおもちゃクラブ」「SA 大阪歌体操協議会」「おも路地活動」「ハーモニカクラブ」「デスコクラブ」「グラウンドゴルフ」「華輪会」「3歳児見守りボランティア」等のクラブ活動を通じ社会貢献活動をしている。ただし令和2年度は新型コロナの為、年初から全く活動出来なかった。以上の他に下記活動に取り組んだ

- ① 新規に出前先開拓：船場デイサービス、ファミレやわた、ATC 親と子どものおもちゃ教室、**支援学校 10 校、いきいき教室 4 校、老人福祉センター** 神戸キワニスクラブ、船場祭り、大和リース南大阪流通（物販）
- ② 区民カレッジ5校でのフレイル（加齢による虚弱）の講演と SA 活動の報告
- ③ SA だよりの広告代取得の営業活動
- ④ 助成金の取得で制服（ポロシャツ）も整備。
- ⑤ 他団体との提携によるノウハウの学習（ドットアートコスモと提携）

手作りおもちゃ教室



歌体操出前



おも路地活動



ハーモニカ



小学校でデスコ



各地区のあゆみ 中ブロック 2

②SA 守口「みつわ」

「みつわ」は心の和 組織の和 地域の環 です。初代会長の藤井信治郎氏の発案で会員一同 とっても気にいっています。通称「みつわ」

設立 平成22年4月 会員数 16名 定例会 毎月第3（木曜日）年会費1200円
設立10年余りの若い会です。地域の世代間交流、福祉ボランティア活動、そして 会員相互の親睦、情報交換並びに ボランティア資源の習得を目的とする。

伝承玩具おもちゃ、手工芸品等の習得により、高齢者施設、各種学校イベント等に参加。特に高齢者施設では色彩のはっきりした綺麗なもの、ブローチ、折り紙、ストラップなど、装飾品的なものが好まれているようです。

おもしろ算数パズル塾パズル体験では、旭区民まつり、守口市民まつり等のイベントに沢山の子どもたちが集まり、父兄たちも興味深深で楽しんでいる様子。又、認知症カフェ「パイン」、赤十字ビューティーケアの活動もしています。今後は「出来る時に、出来る事を、出来るだけ多く」を目標に活動を広げていくことが課題です。



③SA 寝屋川

SA 寝屋川連絡会（略称 SA 寝屋川）は平成7年4月に発足し、最初は小さな活動しかできなかったが、「てづくりおもちゃ」を中心に「木工工作」「紙芝居」「ふれあい元気体操」「交際交流」と幅広く、各々担当者が頑張っている。

活動場所は、おもに市立公共施設（エスポアール）であり、時には保育所、小学校に数名で参加している。

定例会議は（毎月第2月曜日）に開催（ふらっとねやがわ）で実施。

月例会議（毎月第2月曜日）

おもちゃづくり会場

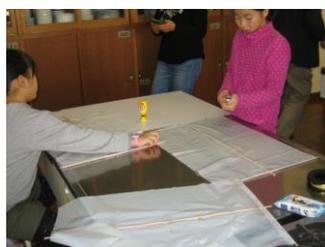


各地区のあゆみ 中ブロック 3

④SA ひらかた

北河内7市(枚方市・交野市・四条畷市・大東市・寝屋川市・門真市・守口市)の各会員が地区広範囲の活動が困難になったため各行政区単位の活動にするために、西暦2005年(平成17年)4月にSAひらかたが設立され、そして15周年を迎えました。会員も高齢化が進み設立時の会員32名が20名に減少しましたが新会員が2018・2019の2年間に一般会員・府民カレッジ10名の方が入会し活力がよみがえり、現在32名在籍です。

活動は枚方市伊加賀小学校「いきいき広場」の運営を市教育委員会放課後子ども課より委託され土曜日に年21回開催、他5校区の「いきいき広場」応援で年23回 計56回開催していますが、コロナウイルス自粛により休会、再開、再休会です。市内開催イベント・自治会夏祭りなどにおもちゃ作りで参加していますが全て中止となり、又、演芸で構成の「夢一座」も月4・5回のデイサービスセンター関係の活動も自粛で休会中です。



⑤SA 交野

主なあゆみ…平成16年4月、交野市在住のSA講座修了生により<SA交野連絡会>を設置。平成17年3月、SA講座修了生以外の方が参加出来るように「玉手箱」と改名。
①おもちゃ作り部門②ニュースポーツ部門でのボランティア活動グループとして交野市ボランティアセンターに登録認定。続いて③演芸部門の開設、老人施設や幼稚園等を訪問して「ふれあい活動」をする。おもちゃ作り部門には、小学校幼稚園保育園、イベント団体等から多くの出張要請がある。ニュースポーツ部門では、参加された方達にこのスポーツを紹介し一緒にゲームを楽しむ。玉手箱の3部門は、市のイベントでも活動し定着して来ている。現在、演芸部門は休眠中。平成22年11月、大阪府知事表彰を授与。平成29年4月から「日本語プラザ教室」と「サイエンスカフェ交野」の活動も紹介している。

<p>☆SA 交野連絡会 ・「玉手箱」 おもちゃ交流 ☆「ニュースポーツ」</p>			
<p>☆「日本語プラザ教室」 ☆「サイエンスカフェ 交野研修会」</p>			
<p>・日本語プラザ教室 コロナ禍後の教室</p>	<p>サイエンスカフェ=会員が講師・大学教授が講師「プログラミング体験」</p>		

各地区のあゆみ 中ブロック 4

⑥SA 大東

大東市の人口は現在 12 万人となっている。全国的には、お染久松の野崎観音と高校野球で全国制覇した大阪桐蔭高校が有名です。

設立＝平成 14 年。SA11～13 期生の会員で、大東市社会福祉協議会のボランティア団体として仮登録し活動を始めたが、市内居住者は 3 名であった。

その後 18 期生及び主旨賛同者を得て連協の指示もあり、18 年に本申請を行い、本格的に大東市内で活動を開始した。年を経て 19～22 期生や高大修了生の加入等があり 14 名の会となった。少人数であるが、会員は明るく、協力的、意欲的で素晴らしい仲間を誇りにし社協、人材問屋、施設や団体等から要請を受けての活動を原則としている。

表彰歴として、平成 25 年 10 月大阪府知事表彰、平成 28 年 10 月大東市社会福祉協議会長表彰を受けている。

活動＝活動・放課後児童クラブ・子育て支援施設・各種イベントの伝承おもちゃ作りと高齢者施設、地域諸会合での歌体操・マジック等である。月 1 回例会を開き会議終了後世代間交流修了者が講師となり数種類の玩具づくりの技術指導行っている。

同時に歌体操を実施して各人の研鑽と資質向上に努め、要請先で自身をもって指導できるよう心がけている。しかしながら、シルバーアドバイザー（SA）と言っても名前や活動内容等知らない人が多く、そんな折、ボランティア団体連合会の研修会で SA 大東の会組織、玩具、歌体操、マジック等の活動状況の発表の機会に恵まれ好評であった。

平成 28 年度では・イベント 11 件・世代間交流 19 件・高齢者施設訪問 52 件＝計 82 件

課題＝活動は世代間交流分野多く、環境問題、外国人問題等、他分野の活動面に弱点がある、また当初から活動してきた先輩方が高齢化、新規加入者も少ない等で会員が半数まで減少、会員の確保が本会継続の大きな課題となって居る。

⑦SA 八尾・柏原

足 跡：平成 15 年 4 月 10 名で再スタートした。

その後会員は増加し平成 21 年には 28 名となるが、現在は 15 名となっている。

- ・平成 20 年「第 1 回ふれあいフェスタ」開催。名称を「ふれあいまつり」と変更し毎年秋に継続し実施している。
- ・平成 25 年 4 月「大阪府シルバーアドバイザー八尾・柏原」と名称変更する。
- ・令和元年 12 月、厚生労働大臣表彰を受ける。

モットー：仲間と一緒に 助け合い 無理をしないで 楽しく活動

活動の特徴：メンバーが持っている色々な活動を、ボランティアに活かし、会員がお互いに助け合い支えている。そのために、少人数のメンバーではあるが、多種多様なボランティア活動が実施出来ている。更に、その活動が外にも広がり、下記のようなグループや教室となり、活動が広がっている。

具体的な活動：介護施設へ月 1 回定期訪問

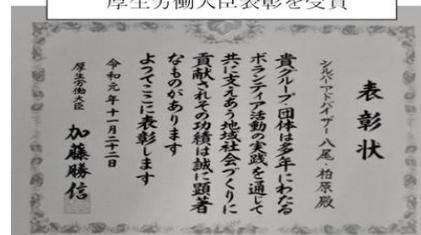
- ・物作り（おもちゃ・小物・自然素材を使う）
- ・バルーン・押し花・折り紙・スリーA
- ・ドッグセラピー・マジック・ディスコン
- ・書道・将棋・おもしろ算数教室
- ・高齢クラブ支援・子育て支援

外に活動がどんどん広がっている状況

- ・マジック教室・おもしろ算数教室



厚生労働大臣表彰を受賞



- ・八尾ディスコン協会・柏原ディスコン協会
- ・バルーン八尾・将棋教室等となっている。

⑧SA 東大阪

足 跡：平成 5 年 2 9 名で再スタート、平成 13 から 5 年久保会長の伝統あり
その後、市のボランティアセンター拠点に 2 団体に分散合併する歴史があります。
平成 3 1 年に中枢中核都市として必要の目的で再結成、現在は 6 名となっている。

目 標：仲間と一緒に、中河内地区と連携して助けあいながら活動し、地域貢献する。
活動の特徴：私達の特徴は、メンバーが色々なボランティア資源を持っていることです。
地区内にある文化、歴史的な多様な活動があります。

具体的な活動：メンバーの複数の者が 21 年 1 1 月に開館 2 0 年をむかえる
公益財団法人 司馬遼太郎記念館ボランティア活動に参加していました
現在 2 人過去含む 5 人のべ 3 0 年)、傾聴ボランティア活動 2 人
1 9 年花園ラグビー場、ワールドカップと大阪マラソンと
ATC 子供イベント、支援学校清掃ボランティア、ゲーム教室ボランティア
その活動が外に広がり、会員数は少ないが、助け合って活動を支えています

各地区のあゆみ 南ブロック 1

①SA はびきの

平成 15 年 7 月 25 日発足以来 17 年にわたり、大阪府 SA 連協の一員として活動している。

会員相互の連携強化を図り、地域でのボランティア活動を積極的に推進し、地域福祉の発展、向上に寄与することを目的としている。

- 1) 毎月一回定例会議を市役所別館 2 階にて行う。
- 2) 歌体操、おもちゃ、絵手紙、ディスコン、の各同好あり、市民への参加、研修を行う。
- 3) 各施設、小学校などへ出前研修をする。現在 9 人(男性 5 人、女性 4 人)で活躍している。会員の新規加入者を大いに歓迎します。



各地区のあゆみ 南ブロック 2

②SA 藤井寺のあゆみ

- ・ 設立平成 16 年 10 月藤井寺在住 SA16 期生が主体となり 6 名にて発足。
初代会長 中村 壽太 (16 期地域活動)
- ・ 平成 17 年 4 月大阪府 SA 連協に加盟ディスコン普及イベント開催
- ・ 平成 18 年 1 月藤井寺市社協ボランティア連絡会加入
- ・ イオンイエローキャンペーン 参加・太極拳教室発足、市広報体験教室 5 掲載
- ・ SA 連協ホームページにブログ開設
- ・ 平成 23 年 4 月中村会長退任 大川会長新任
- ・ 平成 23 年 10 月 SA 藤井寺大阪府知事表彰受賞
- ・ 藤井寺市協ふくしまつり参加毎年要望有り。
- ・ 平成 27 年 11 月 SA 藤井寺厚生労働大臣表彰受賞。
- ・ 平成 27 年 11 月お手玉サークル“遊”大阪府知事賞受賞。
- ・ 平成 27 年 9 月武術太極拳フェスティバル 2015 出演
- ・ 平成 28 年 1 月「SA 藤井寺リフレッシュ体操」開講
- ・ 平成 28 年 10 月【SA 藤井寺】市制 50 周年記念感謝状受賞
- ・ 平成 29 年 2 月「ほのぼのサロン (PC 教室部門引継)」SA 藤井寺パソコン教室開講
- ・ 平成 30 年 1 月フレイルサポーター養成講座(2 日間延べ 101 名) A,S 協会とコラボ
- ・ 平成 30 年 11 月 SA 藤井寺大川会長 藤井寺市民表彰
- ・ 平成 31 年 2 月 「大阪府福祉基金 2019」受領。「大阪ガス福祉助成金受領」
- ・ 令和元年 5 月 “遊” 吉留夏樹会長 ボラ連副会長に就任
- ・ 令和 2 年 12 月【お手玉サークル “遊”】厚生労働大臣感謝状受賞。」



③SA 河内長野

当会の発足は約 30 年前 (1991 年) である。つまり SA 養成講座第三期終了生にて設立。由来今日に至っている。

一時期 (2000 年半ば頃には) 会員も多く「会」の活動も力強かった。

然し、物故者や高齢により退会する会員などで当会は現状 10 名たらずの会員数である。云うまでもなく、活動の場は南河内であるが SA 連協の行事には微力ながら協力している。現在の活動は 歌体操教室 河内長野市の「市民まつり」へ幹事構成団体での参画 (歌体操手作りおもちゃの出演、出展) 施設への慰問訪問を続けている。

現在の活動・行事を以下に記しておきます。今後とも諸兄のご教示、ご指導のほど宜しく願い致します。

「ある日の当会の親睦の場」



「SA 連協関係」

役員会、理事会へ出席、SA 連協行事への参加 歌
体操部会・研修会及おもちゃ教室への参加

「河内長野市関係」

市民まつりの幹事構成団体にて幹事会に都度出席
生きがいクラブを持ち、菜園 囲碁・将棋 パソコン教室を
実施又歌体操教室も 2 教室開設参加多数「慰問訪問」
市内の施設へ歌体操・紙芝居・詩吟の慰問訪問、連協役員会

理事会へ出席、SA 連協行事への参加 歌体操部会・研修会及おもちゃ教室への参加。

各地区のあゆみ 南ブロック 3

④堺 SA のあゆみ)



地元社会への貢献として（歌体操・おもちゃ・折紙）を平成元年 8 月 1 日に設立。

発足当時は講座受講時の「泉北・泉南」地区居住メンバーで構成

平成 3 年、泉北地区（堺・和泉・高石・泉大津・忠岡）居住者は

泉北支部として登録し、以後「泉北と泉南」の二つの支部に別れました。

「泉北府民センター」を利用していたが、平成 11 年 11 月に堺市社会福祉協議会にボランティア会員登録を果たしました。

これより、安定して、福社会館館内施設は使用可能になり、活動の推進に弾みがつくことになりました。

平成 12 年 4 月総会において、会の名称を「大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会泉北支部」から「堺シルバーアドバイザー連絡協議会（略称堺 SA）」に改称

平成 29 年に「堺 SA」に改称

現在 堺市内のイベント・小学校での世代間交流・保育園行事支援こども園行事支援（夏まつり・納涼祭）・福祉施設 等に歌体操・おもちゃ・折り紙作りに参加して交流を深めています。現在会員は 37 名

⑤いずみ SA

発足

大阪府 SA 養成講座 17 期生(南部講座 1 期生)講座の中での地域交流活動 SA 泉州グループメンバー（和泉市 10 名泉大津市 3 名）で修了後活動として新規に「いずみシルバーアドバイザー連絡協議会」を平成 17 年 5 月 26 日に設立しました。

会長 中川 明子 会員 18 名でスタート。

・活動テーマ

「ボランティア活動を通じて、すべての人々が安心して暮らせる地域社会を目指して」

・活動指針

①心と心のふれあいコミュニケーション

②楽しくゆっくり無理をしない

③専攻コースで学んだこと、個人スキルをツールに社会貢献（ボランティア活動）を目指す。

・主な活動

①バルーンアート教室、子供の科学教室＝指導講習会、いずみ福祉祭り

②おもちゃ作り教室、イベント参加＝小学校、いずみ福祉祭り

③いきいき歌体操、イベント参加、施設訪問＝いずみ市民祭り

④その他＝乳幼児施設

・今後の課題・活動

地域の老若男女問わず皆さんとコミュニケーションがとれる組織にし、気軽に一人でも参加できる提案（企画）にしたい。そして独りでも会員を増やしたく思います。

部門別沿革 1

渉外部 鈴木 紀男

(1) 渉外部

渉外部は渉外委員会より西暦 2015(平成 27 年)度に渉外部と改組し、3 部会 渉外・福祉 IT・都市環境の 3 部体制にてスタートした。

渉外部はシルバーアドバイザー連絡協議会の対外的な窓口としての役割を担うことをモットーとし進めてまいりました。

1. 行政機関との関係 ・大阪府高齢者介護室
2. 認定 NPO 法人大阪府高齢者大学校
3. NPO 法人大阪区民カレッジ
4. NPO 法人大阪府民カレッジ
5. シルバーアドバイザー・ネット大阪
6. 認定 NPO 法人北部コミュニティーカレッジ
7. 大阪マラソン
8. 大阪国際女子マラソン

今後とも上記団体とは親密な関係を維持して高齢者の健康・安全に寄与していき、2・3・4・6 のカレッジの受講生の受け皿として内容の充実を図ることが必要であります。

・福祉 IT 部会は 2019 年(平成 31 年)・都市環境部会は 2018 年(平成 30 年)当初の設立時の初期の目的を達成したため、惜しまれながら解散をいたしました。

①健康管理部会

笠原 俊生

健康管理部会は 2018 (H30) 年の 4 月に発足しました。

発足に当たって、少子高齢化が進行している中「人生 100 歳時代」を元気で長生きするために「健康寿命をのばす」を啓発目標にして健康講座を通じて「フレイル予防」の理解を深めたいと考えました。発足してから「フレイル予防講座」を中心に、2020 年 11 月現在まで延べ 41 回開催してきました。

2018 年 (H30 年) 4 月から	6 回	健康寿命	‘16 年厚労省 (参考)		
2019 年 (R 元年)	22 回			男性	72.14 歳
2020 年 (R2 年) 11 月まで	13 回			女性	74.79 歳

認定 NPO 法人高齢者大学校 (コーダイ) 校友会をはじめ、・ NPO 法人大阪府民カレッジ (ひらかた校)・ NPO 法人大阪区民カレッジ (西校・城東校・東成校・北校・中央校)・ SA ネット大阪・認定 NPO 法人大阪府北部コミュニティーカレッジ及び各種団体で健康講座を開催しております。また、昨年 (R 元年) 11 月にコーダイフェスタに大阪府健康管理士会の協力を得て、初めて出展参加させていただきました。

今後とも「笑顔で楽しく健康寿命をのばす！」を合言葉にして健康増進の啓発活動を積極的に展開して健康増進活動に取り組んでゆく所存であります。

部門別沿革 2

交流活動部 澤 和夫

(2) 交流活動部

交流活動部は平成27年度企画委員会より改めて、歌体操部会・おもちゃ部会の2部会構成で活動を運営している。交流活動部としては1回/2か月定例会議を実施し、歌体操部会は毎月一回、おもちゃ部会は1回/2か月定例会と研修会を実施し技術の向上を図っている。そして年1回各々のブロック（北、中、南）で交流会を実施している。又、全体のイベントとして「府SA連協歌体操フェスタ」を年1回3月に実施している。おもちゃ部会は「ATC親子おもちゃ教室」「船場祭り」などに積極的に参加している。

①歌体操部会

梶山 良子

SA連協歌体操活動の歴史は平成15年9月からです。開設当初から携わっている私は吹田市山田に建つ「老人総合センター」の門をくぐり以来、毎週月曜日、午後1時～5時まで連協会員とSA講座生徒さんの歌体操サークルの指導を続け多くのメンバーを育ててきましたが、歴代理事長様の終始変わらぬ信頼と支持が、大きな支えでありました。歌体操教室はその後、歌体操委員会から歌体操部会と名称が変わりつつ継続。大阪市SA歌体操会長の私は、一度も途切れることなく人材を派遣するとともに、ブロック交流会や府下全域のグループが一堂に会する歌体操フェスタに出演を続けてきました。その度に、懐かしい歌に合わせて行う優美な体操に拍手を頂き、「歌体操こそ連協の最大の宝」と高く評価されていることは、指導者冥利に尽きる喜びであります。そうしたなか、令和元年には歌体操部会長に就任。毎月の部会では、健康維持に少しでもお役に立てるようレパトリーの充実に努めています。歌体操部会の発展を願い、会員の親睦を深めつつ活動の歩みを進めていきたいと思っております。

今や「人生100歳時代」。多くの方々の健康維持と、和合と協調の旗を掲げ、府SA連協歌体操のリードにあたって参りたいと、大きな夢を描いております。

②おもちゃ部会

島田 道子

現在の部会は ネット大阪「おもちゃ教室」から分枝したものです、教室は技術が高度化し過ぎ、初心者でもついていける場所が欲しいとの声があり平成16年4月に連協「初級おもちゃ部会」が企画委員長中川明子氏 部長森田展性氏にて発足、現在の交流活動部「おもちゃ部会」となりました。開催：偶数月1回 13；30－16；00 会費1回 200円 会場 未定（コロナウイルス感染の為 令和2年11月現在）SA会員である事。部会活動を通じて各地区の活性化を助成 会員相互の親睦 情報交換 講師の養成。ブロックごとにおもちゃ交流会研修会を実施、又 各種イベントに参加し幅広い活動を目指す。



部門別 沿革 3

(3) 広報部

広報部大川 正彦

1. 府SA連協と地区SAの架け橋となる広報活動を目指す。
2. 地域でのSA活動の知名度(認知度)の向上を目指す。
3. 関係団体との関係強化のツールとなる広報を目指す。
4. ホームページ、ブログなどネットでの広域活動、助成金情報などの共有化を目指す。

活動: 1. 広報誌部会。 2. ブログ研究部会。 3. ホームページ、管理部

★歴代広報部長(10年のあゆみ) 森・大川・前田・石川・上山・織田・松本・大川

① ブログ研究部会

島野 純一

【活動目的】

1. 府SA連協および各地区SAの日常活動を、ブログを使ってタイムリーに見やすく提供する、そのためのスキル向上と交流を目指す。

【活動】

1. 各地区のブログ要員の拡大、普及とスキル習得のための施策、
 - ・講師＝桑津講師
 - ・会場＝新鞍理事長提供会議室(大阪市)
 - ・募集＝理事会での定期募集、定員6名
2. 午後のIT交流会を行う。

★歴代ブログ研究部会長(10年のあゆみ) 前田・織田・松本・大川(兼)・島野

② 広報誌部会

大川 正彦

【活動目的】

1. ペーパー情報＝情報誌、PRチラシ等の文書情報で情報発信を行う。
2. 会員募集確保＝情報誌・PRチラシ等でSAファンづくりを行う(関連組織イベント等)。
3. SAの活性化・先進活動＝情報誌・パンフレット・PRチラシ等で地区の共有化を図る。

【活動】

1. 府SA連協「シルバー通信」を年1回発行全会員に配布する。
2. 高大機関誌「れいんぼー」に校友会、会員として寄稿する(年2回1月、3月)。
3. 府SA連協PRパンフレット、地区SAのチラシ(更新随時)等、のツールを使い高大行事ONCC行事・校友会行事等で募集活動に利用。
4. 記念誌発行(20.30周年)

★歴代広報誌部会長(10年のあゆみ) 服部・石川・大川・松本・大川

③ ホームページ管理部

新鞍理事長・大川部長

【活動目的】

府SA連協の情報の交差点としてのホームページを目指し、企画、維持管理に努める。

1. SA連協、各地区概要ホームページ年度更新と未更新地区のフォーマット作成しより多くの地区の推進をする。(HPアップ桑津講師)
2. SA連協HP「広報トピックス」コーナー各部門・渉外・交流活動・広報の継続スキルアップ
3. 各地区SAの依頼原稿(原稿変更時)に基づいて、地区SAのホームページを更新する。
4. 「地区SAの活性化、先進活動」の地区活動プレゼン情報を、編集しPDFで全地区にフィードバックし、共有化、活性化に寄与する。

★歴代ホームページ管理部(10年のあゆみ) 歴代: 理事長・広報部長

ボランティア施設の声 北ブロック 1

①SAいけだ

「ボランティアさんは施設と地域をつなぐパイプ役」 (池田三恵園 より)

ボランティアさん (SAいけだ) が、来られて5年が経とうとしています。「おう」と元気な声を上げたのは」利用者のOさんです。皆さんが来られたら満面の笑みで挨拶をされ、来られるのを心待ちにしている様子が伺えます。

活動を共にする利用者さんの方は、表情も変わり、利用者さんの方の新たな一面を見ることが出来ます。まさに、「SA いけだ」の皆様のおかげだと思っています。ある時は、職員の代わりに三恵園を紹介していただいたり、いろんな方に知ってもらう機会をいただいたりと、我々が目指している「誰もが豊かに暮らす」を現実にして頂いています。

また、近年コロナ禍の中、手作りのマスク等寄付をいただき、ありがとうございます。今後も、距離は離れていますが、心の距離は近くに！！ よろしくお願い致します。



②箕面・豊能

あそびりクラブ瀬川の家

コロナウイルス感染対策の為、中々お会いする事が出来ず残念に思っております。利用者の皆さん歌や体を動かす事が大好きな方が多くいらっしゃるので、スタッフも一緒に歌や振り付けを覚えるのを毎月楽しみにしています。これからもよろしくお願い致します。



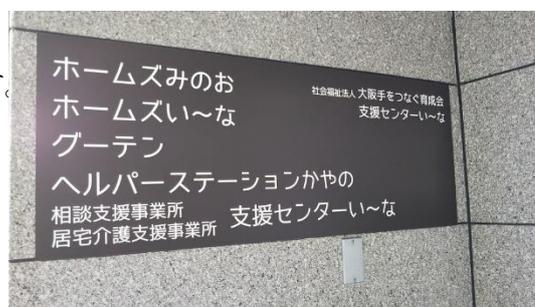
支援センターい〜な「ゲーテン」

ゲーテンへいつも歌体操に来ていただいてありがとうございます。

ゲーテンでは、利用者さんもよく知っている

「上を向いて歩こう」「幸せワルツ」等懐かしい曲などを歌いながら、1時間程の体操をしています。普段他の活動に参加されない方も

一緒に参加されます。活動中は毎回笑いがあり、活動終了後は、「ありがとう、またきてね〜」と、次の機会を楽しみにされています。



北ブロック 2

③SA 吹田

高齢者施設歌体操ボランティア活動

今年はコロナ拡大で活動を停止していますが、今まで何年も毎月お越しいただき有難うございます。歌体操は施設利用者の皆さんが楽しみながら体を動かす機会です。リズムに合わせて体を動かすことは、普段動きの少ない方も体が動いてすごく良いリハビリになっています。今後も継続して頂けると皆さんのリハビリにとっても良いのでよろしくお願い致します。

社会福祉法人 和貴会 施設長 田中宏和



おもちゃの活動(手作りお雛様)

毎年子どもたちのために活動いただきありがとうございます。今年はコロナの関係で活動が難しいのですが、かわいいお雛様づくりは、中でも大人気です。スタッフの皆さんがお孫さんに接するように、やさしく親切に教えてくださいるので、みんなが喜んで作っています。出来栄も素晴らしくて家に持って帰っても、大好評なようです。今後ともよろしくお願い致します。

吹田市山手地区公民館長 宮田光代



④SA 茨木

デイサービスセンタードウライフ 矢尾さん「オカリナ“風”」様には定期的に当施設に来て下さっております。リーダーである青山さんを筆頭に、いつも皆様が一生懸命にまた時には楽しそうに音色を奏でられているお姿に利用者様も自然にひきこまれているご様子です。新型コロナウイルスの影響で様々な活動ができなくなり、以前来ていただいていたボランティア様もこられない中、いち早く活動を再開され、私たちにとっても大変心強い存在です。これから冬の季節が近づいてくる中、まだまだ予断を許さない状況ではありますが、できる限り活動を続けて頂きたいと思っております。今後ともよろしくお願い致します。

特養老人ホーム春日丘荘＝「懐かしい歌、童謡を歌うと気分が和み、笑顔が出る」「ナルコ、楽器を使う体操では体でリズムを取る動きが出る」「体操に参加しなくとも耳から聞こえる音楽が刺激になる」「利用者仲間や歌体操スタッフとの会話ができ、対話と交流のきっかけができる」等でお世話になっております。今後ともよろしくお願い致します。



北ブロック 3

⑤SA 高槻

「聖ヨハネ学園」は130年の歴史を持つ児童福祉施設で、毎年11月に「ヨハネ丘のまつり」を開催し、SA高槻は20年近く参加してクラフト作りで協力してきました。以下は昨年度施設長から頂いた感謝状です。

「本日は聖ヨハネ学園（丘のまつり）の開催にあたり、多大なお力をいただき、心より感謝とお礼を申し上げます。皆さまのご協力のおかげで、日ごろお世話になっている近隣の皆さま、子ども達をご支援いただいている多くの皆さまをお迎えすることができ、子ども達自身も楽しい一日を過ごすことができました。これも皆さまのご協力・ご援助があればこそで、重ねてお礼申し上げます。昨今の子ども達を取り巻く環境、また福祉全般の政策については、大変厳しい現状です。そんな中ではありますが、多くの課題を抱えながらも、皆さまの支えのもと、子ども達と共に頑張っていきたいと思っています。この「ヨハネ丘のまつり」が子ども達と皆さまとの掛け橋になれば、これほど嬉しいことはありません。今後とも、学園の子ども達、ならびに聖ヨハネ学園に対しまして、皆さまのより一層のご支援、ご示唆をいただけますようお願い申し上げます。最後になりますが、皆さまの益々のご発展、ご健勝を心よりお願い申し上げます。本日は本当にありがとうございます。」

ボランティア施設の声 中ブロック 1

①大阪市 SA

- ・「船場デイサービスセンター」歌体操バラの会さまは昔の懐かしい歌、体操では体でリズムを取る動きが出る体操に参加しなくとも耳から聞こえる音楽が刺激になる利用者仲間と歌体操スタッフとの会話ができ喜んでいきます。との言葉を得ています。
- ・「玉造生き生き教室・中大江生き生き教室・北中道生き生き教室・森之宮生き生き教室三軒屋西生き生き教室」おもちゃや折り紙など1か月に1回派遣いただき、子どもたちも高齢者とのものづくりを通しての会話を楽しんでいますとの言葉と児童の時から学校授業で教えないおもちゃ作りで創作意欲への醸成に感謝の言葉を戴いている。
- ・「ファミリーや八幡」父兄の皆様から夏休みの宿題作りに大変役に立っている評価を得る
- ・「全興寺」おもちゃ作り教室に近隣より子どもの教育に大変役立つとの声があります。
- ・「和泉支援学校・生野聴覚支援学校・泉北高等支援学校・茨木支援学校・東大阪支援学校」過去10年にわたる支援学校での出前おもちゃ作りは、評価が良く毎年要望あり
- ・「阿倍野老人福祉センター・北区老人福祉センター・中央区老人福祉センター」
「歌体操バラの会」の老人の体を動かす事、声を出すこと評価していますとの声あり。

船場デイサービス



中大江小学校



難波神社



ATC エイジレス



ボランティア施設の声 中ブロック 2

②SA 守口「みつわ」

松下介護老人保健施設 はーとぴあ

皆さまのボランティア精神にいつも感謝しております。季節に応じた作品やお孫さんとも遊べる作品、昔懐かしい作品など、高齢者が楽しめる作品を毎回提供頂いております。上手くできない方にも解りやすく教えて下さるので、自然と興味を持ち集中して取り組むことができます。また、ご利用日でない方にも作品作りを楽しめるよう、私たち職員に伝授頂けるので、苦戦しながらも利用者と楽しい時間を過ごす事ができています。

グリーンライフ守口 「おもしろなんでも教室」

ボランティア永年活動おめでとうございます。当ホームでも活動して頂き楽しく過ごすことができました。今は人との触れ合いが大事な時ですね これからも頑張ってください。

エイジフリー・ライフ大和田・「赤十字ビューティーケア」

お顔のマッサージをし、口紅を差すと表情が明るくなる。声なき声に寄り添って頂く事で心の温かみが湧いて出るひと時を、多くの方に感じていただきたいと思います。また、20年に亘る活動と、つながりに心より感謝いたします。



③SA 寝屋川

「寝屋川市立エスポアール（青少年成人・児童センター）」・「エスポアール」で世代間交流事業として三世代の交流を深める事を目的に「伝承おもちゃづくり」（工作）の事業を（年8回）SA寝屋川さんに行って頂いて居ます。毎回、季節感のある工作や工夫を凝らしたものを考えて準備し、幼児と保護者・小学生ら一人〃に丁寧に指導して戴き、子ども達も楽しんで作り出来上がった、おもちゃで遊んでいます。

「エスポアール」創設以来二十数年に渡り、三世代の交流を推進し市民の皆様に喜んでいただき感謝しております。来年度（令和3年）もよろしく願いいたします。

「市立エスポアール」職員の声



中ブロック 3

④SA ひらかた

素晴らしいアイデアにいつも感心しています。他の地区にも広げていきたい活動内容ですね。新しいことに常に挑戦している SA さんの姿には、いつも頭が下がります。子ども達のために、ありがとうございます。手助けをもらいながらも自分で完成させた玩具。やはり宝物ですね。風がない中でも、自らが風を起こすために走っていた子ども達の笑顔はまさしく宝石に等しいですね。少しややこしい部分もありましたが手直し等で修正完了。講師の一人一人スキルの高さがあればこそで、感染防止対策、毎回ありがとうございます。(新型コロナの状況が全国的に増加傾向。今後急に連絡入れる可能性もあります。よろしく願いいたします。)

(伊加賀小学校「いきいき広場」)

単に和紙の折り染めをするのではなく、和紙の歴史を含めて紙の話を同時に行うことはとても素晴らしいことですね。作成するものが今ぜひとも必要なマスクカバー。これもタイムリーで素晴らしい企画だなあと感じました。自分で作ったカバーなら、一人一人違い、個性豊か。しかも世界に一つしかないものだけに、大切に使うことは間違いありませんね。参加人数も 10 名、スタッフは 9 名。ほぼマンツーマンで一緒になって完成させることができた今回の作品。どのような作品か、私もとても楽しみにしています。

(某小学校)「夢一座」

演芸スタッフは 2 月のコロナ自粛より、高齢者施設訪問のために「うつらない・うつさない」を守るために、各施設の訪問活動を中止いたしました。

SA ひらかたのみなさん 15 周年おめでとうございます。再開できるめどがつかましたらご連絡致します。今までありがとうございます。

(某施設長談)

⑤SA 交野

☆いきいきランド交野 (交野市立総合体育施設)

「玉手箱」では、交野市教育委員会の依頼により、毎月第 2 土曜日に市立体育館ロビーで子ども達と「おもちゃ作り」を楽しんでいます。15 年間休みなく続けており、毎月来る団体の参加者もいます。1 月の「凧作り」は人気のあるメニューで、中央広場で毎年賑やかな凧あげ風景が見られます。コロナ禍が終息し、気兼ねなく「手作りおもちゃ交流」が出来る日を「一日千秋」の思いで待っています。

(「玉手箱」河野 良記)

☆NPO 交野市国際交流協会 (交野会館)

NPO 交野市国際交流協会 語学研修推進委員会では「日本語プラザ教室」を開講し、ボランティア講師により近隣に住む外国人に日本語を教えて貰っています。「日本語プラザ教室」では教室内での学習だけではなく、年数回「日帰り旅行・社会見学」なども行い広く日本を知って貰っています。学習者が母国に帰り、その国で活躍されている様子をお聞きすると嬉しく思います。益々のご活躍を期待致します。

(副理事長：横溝 博記)

「玉手箱」手作りおもちゃ交流(コロナ禍前)

「日本語プラザ教室」風景(コロナ禍前)



中ブロック 4

⑥ SA大東

ディサロンTAMAMの声＝東 啓司様 SA 大東の会ボランティアさんにはディサロンTAMAM（タمام）がオープンして間もない時からお世話になっております。毎月、素敵な作品を提供して頂き、利用者様も大変喜ばれています。利用者様から「次、ボランティアさんいつ来るの？」と、話される事もありディサロンTAMAM（タمام）にとって、SA 大東のボランティアさんは欠かせない存在になっています。作品作りもそうですが、こうやって長くお付き合いさせて頂けるのもボランティアさんの方々の人柄が素晴らしく、親しみやすい所も大いにあります。単に作品を作って終わりだけでなく、会話を通じて利用者様と触れ合いながら過ごして頂ける所にいつも本当に感動させられています。これからも末永くお付き合いさせて頂けたら幸いです。

放課後児童クラブの声

子どもは昔ながらのおもちゃに興味を示し、遊び方や作り方を教えて貰い大興奮。TVゲームにはない味わいあるおもちゃを作って持って帰っておとうさん、お母さんに自慢している様です。シルバーアドバイザーさんの準備もとても大変だと思いますが、こういう機会を与えて貰い感謝しています、有難うございます。放課後児童クラブから SA 大東の会へ伝承おもちゃづくりを依頼し既に 10 年以上経過。開催当時は道具やスリッパなど打ち合わせをしたとの事、子ども達が・本当に楽しみにしています。・こんなおもちゃ知らなかった・とても良い刺激を受けて居ります。等、「放課後児童クラブ」さん、からは、お褒めの言葉頂き有難うございます。また、インタビューも、お答えいただきありがとうございます。これからも良い作品作りを提供したいと思います。

⑦SA 八尾・柏原

介護付有料老人ホーム サラサ・八尾事務局

音楽活動をはじめ製作活動や軽い運動など、1 年を通して入居者の皆さんが楽しめるレクリエーションを提供して頂いている、SA 八尾・柏原さんには、長年に亘ってお世話になっています。（早瀬 隆清）

グループホーム 神田イン国分 施設長 西野 まゆみ

ここでは、開設当初より、多様な活動（紙芝居・手遊び・スリーA・歌・ゲーム・手品など）をして、楽しんでいただいています。施設長様より「元気をいただき、毎月楽しみに待っています。SA 八尾・柏原さんには永年の活動を感謝しています」との言葉を頂いています。（平尾 榮子）介護老人

保健施設 あおぞら

平成 22 年 3 月から、月 1 回、毎回約 20 名の方に「手作りおもちゃ」を作って貰い、楽しんで頂きました。90 歳を超える方や、車いすの方も楽しみに参加して下さっています。私達もその姿に元気を得て、現在まで 102 回頑張ることが出来ました。（井上 勝）



中ブロック 5

⑧SA 東大阪

司馬遼太郎記念館

21年11月に開館20年をむかえる公益財団法人

司馬遼太郎記念館にてボランティア活動（200人弱）に参加

現在2人のべ15年、年50日玄関、地下中心に活動してもらっています



ボランティア施設の声 南ブロック 1

①SA はびきの

「大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会」30周年、おめでとうございます。

“ぶどうの家”には“SA はびきの”の皆様が、毎月、絵手紙でお越しくださっています。季節を感じながら誰でもが楽しく参加できるよう工夫をしてくださっていて、ご参加の皆様は、楽しくお話をしながらの時間が生きる喜びとなっています。

感謝の気持ちで一杯です。

30年間お疲れ様です。今後の益々のご活躍をお祈りいたします。 **ぶどうの家**

施設長 阪本菜津代

②SA 藤井寺

お手玉体操で訪問-1

・特別養護老人ホーム 河原城苑

いつも楽しみにしています。女性の利用者は特に“昔なつかしい”と上手に投げたり受け取ったりされています。男性は苦手な利用者もいますが、手指の刺激と思い挑戦されています。よろしければ、木曜日以外でも臨時という形で来苑していただけないでしょうか？

折り紙工作で訪問

・デイサービス さくらんぼ

教えてもらったおり紙にプラスして タペストリー風に作成していく作業がとても脳トレになり、集中力を高めている。

・次は何かと期待してワクワクする。・季節のおり紙で家の中にも春や夏や秋も冬も来てくれるかんじです先生がいろいろ工夫して下さり感謝しています。言葉のやりとりも楽しいです。ありがとうございます。



リフレッシュ体操・お手玉体操で訪問

・特別養護老人ホーム 高殿園

いつも当苑で活動いただきありがとうございます。ご入居者、ご利用者は普段体を動かす機会が少ないので大変楽しまれていると思います。また、活動の中で笑顔がたくさん生まれ、笑うことで生きることを実感できるような活動になっているのではないかと思います。今後ともよろしく願いいたします。

南ブロック 2

③SA 河内長野

「寿里苑」 施設長さん

SA 河内長野さんの慰問訪問日、利用者さんは大変楽しみに到着を待っています。

もう 10 年以上続けてくださっている事、本当にありがたいです。

毎年 3 月、ささやかではご座居ますが SA 河内長野さんをはじめ当施設へのボランティアの協力団体さん（80 数団体）との懇親の場を予定しております。

別途開催の案内をさせていただきますので、ご参加下さいます様宜しくお願い致します。

「いこい亭」（デイサービス）交通便悪くその分施設側の送迎車に乗せて頂ける。

施設運営者さん 運営は厳しい。定員は 10 人だが おりおり未達での運営で…

SA 河内長野さんの歌体操と愛唱歌の慰問訪問は有難い事です。

この時ばかりは利用者さん楽しい笑顔になり歌体操では腕を使い、愛唱歌を楽しむ光景は私たち職員一同も、和ませて頂く時です。何時もありがとう御座います。

「長野敬老院」

職員さん（主任級） SA 河内長野さん何時も「春」 桜まつり 「秋」 敬老祝賀会へのボランティア協力有り難うご座居ます。祝賀（ステージの演舞、屋台での販売 おでん、フランクフルト、タコ焼きなど）は午後 3 時頃までの予定ですが、養護の方々には午睡者もいます。その時は部屋まで介助して頂き、その旨詰所に伝えて下さい。

ささやかですが記念品と、今日のチケット、おこのみのものを屋台でお求めください。

表記の説明を受け、今日は宜しくお願い致しますの、言葉を聞く。

④SA 堺

社会福祉法人コスモス 地域福祉活動センター 職員 林

「えるとまつり」に毎年ボランティアのご協力をして頂きありがとうございます。

「えるとまつり」は地域の方と、共に福祉の発展を願うイベントとして開催しています。模擬店やバザーの協力は、とても助かっています。また、手作りコーナーは子供達に人気で沢山の方に福祉を知ってもらう機会になっています

大美野学園 認定こども園 大美野幼稚園 教員 阿部 志織

ボランティアの方たちも気さくに話しかけて頂きアットホームな雰囲気の中、和やかな時間を過ごさせていただいています。

教員以外の人に制作を教えてもらうという機会が少ないこともあり、毎年子どもたちは何を教えてくれるのかと楽しみにしています。

社会福祉法人コスモス 麦の子保育園 園長 佐々木 恵美

麦の子保育園の「よっといでまつり」「むぎむぎまつり」、毎年参加して頂いています。

保育園の子どもたち、地域の子どもたちも「今回は何が作れるかなー」と楽しみにしています。今後も「手作りの遊び・昔ながらの遊び」を共に伝えていけたらと思っています。

社会福祉法人 堺ひかり会 とみなみこども園 園長 海老 澄代

当園で開催している夏まつりでは、「手作りおもちゃコーナー」のお手伝いを毎年お願いしております。様々な年齢の子ども達が楽しんで手作りできる物を、毎回趣向を凝らして準備して頂き、子ども達はもちろん大人にも大好評ですし、皆様と触れ合える事も楽しみにしています。これからも、皆様がお元気で活躍されることをお祈りしております。

南ブロック③

⑤いずみ SA

和泉市人権文化センター＝バルーンアート教室…元いずみ SA 会員（富田氏）

老若男女問わず、地域のコミュニケーションを取っている。

和泉市人権センター＝子供科学教室・・・元教員・高齢者大学講師（高松氏）

和泉市各小学校の1年生から6年生の子供たち 先生今度いつするの？

楽しみに待っているね！おもちゃ作りも楽しいよ!!

おもちゃ作り教室＝いずみ SA 会員

和泉市光明台北小(どんぐりストラップ) 兄弟と幼稚園にもって行って、あげるねん！

アクセサリー作り・・・

(SA はびきの、会員池内氏)

老若男女問わず、地域の方とコミュニケーションを取っている。

誰にあげようか迷ってしまうし、上げたくない気持ちです。

イキイキ歌体操＝

介護施設逆瀬川・介護施設美木の園・デイサービスうぐいす・いきいきサロン上代

外部からの人々をみんな喜んで待っていてくれます感謝。私たちまで顔がほころびます。

(ケアマネジャー・職員)

その他＝福祉関係などのイベントやボランティアボランティア祭りや会館祭り



どんぐりストラップ



いきいき歌体操



子供科学教室

大阪府 SA 連協会員の声 北ブロック 1

①SA いけだ

子どもたちの周りには安くてカラフルなおもちゃが溢れています。ゲームも楽しいと思います。でも、子どもたちにそれだけじゃない、違う楽しい遊びがある事を伝えたいのです。牛乳パックやペットボトルのキャップなど身近にある物を使っておもちゃを作ると、跳んだり回ったりする自分だけのおもちゃができます。

「SA いけだ」おもちゃ部会のメンバーとして、お祭りやイベントで子どもたちといっしょにおもちゃ作りを楽しんでいます。私が元気をもらっています。

(おもちゃ部会；石田京子)

本年1月「SA いけだ」に入会し、おもちゃ部会で活動することになりました。2月は、当会主催の「市民おもちゃ教室」を手伝い、連協のおもちゃ教室を受講し、4月からは、令和2年度の地域活動へのスタートの心づもりでいたところ、新型コロナの事態となり、すべての活動が中止となり、個人としても自粛生活をする事になりました。新型コロナが、早く収束して、シルバーアドバイザーとして、地域ボランティア活動ができる日が来ることを願っています。

(SA いけだ； 樋川 巖)

大阪府 SA 連協会員の声 北ブロック 2

②SA 箕面・豊能

- * 北ブロック交流会で初めて「歌体操」を見て、高齢の方々がイキイキとしているのに感動し、自分もしてみたいと思い吹田の市民塾に入り、今日まで楽しく続けています。箕面では、デイサービス、障がい者施設、サロン等の訪問、また多くの人に知ってほしく教室を開いています。頭と体を同時に使う「歌体操」は認知症、介護予防にも良く、ずっとと続けていけたらと思っています。 (歌体操 田口 淑子)
- * 「おもちゃ作り」を通して、子ども達や、シルバーの方々、地域の方々と繋がりを持ち楽しく、健康で、元気に過ごして頂くよう努力しています。「おもちゃ部会、教室」、や SA の沢山のイベントに参加して他の SA の方から新しいおもちゃを教えて頂き、持ち帰り活用させてもらっています。箕面での活動は範囲が狭く、なかなか広がっていきません。広げていく事がこれからの課題です。
「おもちゃ作り」と「歌体操」を並行してやっています。会員は少ないですが、仲良く楽しく、そして、よく協力してやっています。 (おもちゃ 山下 由起)

③SA 吹田

一会員の立場で SA 連協に対する思いや今後の課題、望む姿など 佐藤 宏一

SA 連絡協議会(SA 連協)が、創立 30 周年を迎えられおめでとうございます。

SA 連協は、ボランティア活動を推進し、「まちづくり」「子どもの健全育成」「高齢者の自立化支援」「自らの生きがい自己実現」などの地域社会への貢献をしてきました。多くの仲間との出会い、シニア相互の助け合いの場を提供しています。現在の新型コロナ禍での活動は、新たな改革が必要になると思います。

アクティブシニア層が活性化され、障害者や子どもたちの支援にもまわり、市民としての役割を担うことが必要になってきます。長年積み重ねてきた経験を次の世代に伝える機会を持つことが大切です。私は、これからの社会を、IOT(Internet of Things)社会システムへの対応と人工知能による健康管理、自動運転、ロボット介護など、あらゆるものをインターネットでつなぐことを目指した活動を期待します。

④SA 茨木

3 月より新型コロナウイルスの影響で活動が中止になり残念です。最近では老人ホームなどの施設を訪問しておよそ 30 人の利用者の方々と一緒に季節の歌と基本体操、自由体操で体を動かして楽しくやるようになりましたが早くコロナが落ち着いて、1 日も早く前のような生活が出来る日が来ることを祈っております。 (歌体操 佐藤 優子)

SA 茨木のオカリナサークル“風”は地域ボランティア活動を始めて 16 年目になります。主に高齢者施設で童謡、唱歌、抒情歌、ポップス等をオカリナ伴奏で共に歌ったり、ハーモニカやギターでの伴奏、手話や手遊びも取り入れて楽しいひと時を過ごしています。この度のコロナ禍では殆どの施設やステージが訪問中止になりましたが練習を続け、感動の音楽をとどけられるよう準備し再開を待っています。 (オカリナ 熊野 光)

何回かイベントのお手伝いをしましたが、子供の目の輝きで年を忘れます。色塗り等をずっと続けたり、生意気な子供もいたりですが、先輩方、先生方がうまく扱われます。今は活動出来ませんが、早い再開を待っています。 (おもちゃ 伊藤 康太)

北ブロック 3

⑤SA 高槻

SA 高槻創立 30 周年、たいへん喜ばしいことです。私は在籍 20 年を迎えました。先輩も少なくなり、体力もめっきり落ちました。現在は外国人に日本語を教えるボランティアを細々とやっています。できる限り、続けたいと思っています。(井之川忠一:12 期)

年を重ねると共に本人や家族にいろいろと支障が出て、思うように活動ができない状況になってきました。ボランティア活動開始して約 20 年、現在は志とは程遠い状況です。今、出来ることを出来る範囲でやり、次世代の人たちに思いが繋がることを願っています。

(松 悦子:13 期)

30 周年を迎えて思うことは、皆さんの努力で活動分野が広がっていることです。私自身今は囲碁に関係する分野だけですが、もうしばらく実施できればと思っています。SA 高槻の活動がますます発展するよう祈ります。

(才木節雄:14 期)

活動 15 年目を迎え、活動の後半は歌体操を中心に、和気あいあいの仲間たちと互いに励ましあい、体操の習得、研鑽に努め、高齢者施設、市民教室と人の輪を広げ、元気を頂き感謝しながら「今日」を大切に、健康寿命が少しでも延びるよう頑張っています。

(立見桂子:17 期)

大阪府 SA 連協会員の声 中ブロック①

①大阪市 SA

- ・平成 14 年より SA 手作りおもちゃ教室を開催し、多くの会員の皆様と楽しく続けてこれました。あれから 30 年記念誌発行と言うことで、これから何年おもちゃ作りが出来るか不明ですが、出来る限り創作品を考えてゆきたく思います (おもちゃ富田)
- ・退職後 20 年おもちゃ作り、ハーモニカ、詩吟を終生の趣味として、社会に少しでも役立てればと思います。健康に留意してやってゆきたいものです。(華輪会森井)
- ・人生 100 歳時代、平成 11 年 4 月に入会し、会員の皆様と手をつなぎ、歌体操一筋に研修会や施設訪問ボランティア活動など、毎月十数回活動を続け、自らの健康保持とともに、今後も地域での健康福祉の増進に貢献してまいります。(歌体操梶山)
- ・大阪市 SA に参加して、イベントの担当をし、いきいき教室の子ども達にエネルギーを頂いています。担当した方々の毎月いろいろなおもちゃの材料、準備にいつも感謝しています。年末や夏休みの企画に参加するのも楽しみです。夜なべ仕事でオモチャの準備も、嬉しそうな子どもの顔を浮かべせながら楽しんでいきます。(イベント担当竹之内)

②SA 守口「みつわ」

SA 守口「みつわ」は、結成 10 年余りとなります。月 1 回の研修会には会員の皆さんが苦戦しながらも多彩な課題に力一杯挑戦しています。施設訪問はデイサービスに参加されておられる方々と会話をしながら楽しく作品を仕上げていき、出来上がった作品を見て喜んで頂けると私達も笑顔になり、日常生活において会話と笑いが如何に大切かを学びました(和田静子) ●折り紙やおもちゃ作りなどを携えて、介護施設でのボランティア、守口市民まつり、ボランティアフェスタ、寝屋川公園中ブロック交流会等、毎年イベントに参加しました。暑い夏の日汗だくになった事も忘れられません。そして、SA 守口には「知事表彰」という嬉しいご褒美を頂きました(坂東章美) ●活動に参加することでストレスが解消されて脳トレもできて有意義なひと時を楽しんでいます(林本トシ子)・出来上がった作品を持ち帰り、孫と一緒に遊びますと喜んでくれます。旭区民まつりに参加した時に子供たちと一緒に竹トンボをつくって飛ばしたことがとても楽しくて忘れられません(石橋英子・西谷典子) ●喫茶のお手伝い 認知症カフェ「パイン」の活動をしています(福本桂子) ●ビューティーケアの活動は少しの化粧で表情が明るくなります(島田)

大阪府 SA 連協会員の声 中ブロック 2

③SA 寝屋川

SA 連協 30 周年おめでとうございます！

SA 寝屋川 (安藤)

今和 2 年定期行事も含め、殆どが中止になりました。11 月に保有園の秋祭り (コロナ対策万全) に、「てづくりおもちゃ」で参加しました。園児たちの笑顔、笑い声、はしゃぐ姿に久しぶりに元気をもらい良かったです、1 日も早く、又あの笑顔に合いたいですね～

寝屋川市の「町の先生」として市の関連行事や保育園、幼稚園、小学校、施設等からの依頼で「てづくりおもちゃ」と「元気アップ体操」の活動を続けています。

- ・子ども達と一緒に「おもちゃづくり」は私たちが元気をもらい。
- ・「元気アップ体操」は、私自身の健康維持でもあり共に ”ステキな場” です。

④SA ひらかた

連協 30 周年おめでとうございます。ひらかたも 15 周年ですがまだまだですね。小学校での子供達とのふれあい、子供達の素直な目に接することは楽しいひととき、私の孫達は大きくなり、この子供達に接する時は楽しいです。

会員の皆さんはそこそこいいお年ですが、頑固親父でもなく、やさしくて、ボランティア精神が旺盛な人達ばかりで、コロナに負けずこれからも頑張りたいと思っています。

(SA ひらかた創立時メンバー)

在籍 3 年目、NPO 法人府民カレッジ「ひらかた校」卒業后入会しました。少し慣れてきたと思ったつかの間コロナウイルスで活動中止、やっと再開、再中止とほんろうされていますが 10 月再開で 60 才の手習いをしてゆきます。

(新人)

30 周年おめでとうございます。高大 3 期生、おもちゃ作りで世代間交流、演芸一座で紙芝居をデイサービスセンターで高齢者に披露し喜ばれています。活動して 8 年目コロナで自粛早くの終息を願うばかりです。

⑤SA 交野

「玉手箱」での「手作りおもちゃ交流」と「ニュースポーツの活動」は 3 月よりすべて休止としてきました。ただし毎月の定例会会合と屋外の「ニュースポーツ研修会」は実施してきました。10 月から、公共施設の使用が可能となったので、「おもちゃ作り」は子ども達と一緒に組む立てをやめて、作成した「手作りおもちゃ」を、体育施設などに来られた子どもさんへ差し上げ、楽しく遊んで頂くようにしています。早く新コロナが終息し、地域のイベントなどの活動が、活発になるように願っています。(河野 良記)

「日本語プラザ教室」は、コロナ禍のため 3 月～5 月と休講し、6 月から再開しました。コロナ禍の中、「日本語プラザ教室」ではマスクをかけたスタッフ達と学習者達が登校し、先ず手の消毒体温を記入してから「マンツーマン」形式の日本語学習支援活動を始めます。

学習者とスタッフは「3 密」を避け机の両端に座り時短で活動中です。この時期は遠足や他の活動を自粛中ですが、一刻も早い本来の「日本語プラザ教室」の再開を期待します。

「サイエンスカフェ交野」では、4 ヶ月間の休会后、コロナ禍の「3 密」に配慮しながら、11 月には「第 97 回サイエンスカフェ交野研修会」を開催しました。(田中 暁子記)

中ブロック 3

⑥ SA 大東

コロナウイルスのため SA 大東の会の東寝屋川公園、介護施設放課後児童クラブ、ボランティアフェスティバル、各イベントが中止なり予想もしない年になった。今年度 70 件程の活動予定有るがこれからの実行予定は立てられない。

会員の声：高齢化と老老介護・現状ではイベントに頼る事も出来ない展示会場を利用して宣伝をしたらどうか？・伝承おもちゃづくりに関わらず活動分野の拡充で特技のある方に声かけをして入会を勧め活動の場を共有する案。

- ・ボランティア活動＝有償ボランティアでなく入会金を払い会員？趣味の活動なら等、千差万別である。
- ・来月はどんな作品を教えて貰えるのか楽しみ！と嬉しい声も聴きます
- ・訪問先＝どの色にしようかな？・どの色紙？・これは難しいな～？等、賑やかで楽しい声が聞こえ、先生、介護職員さんがお手伝いをして下さいます。
- ・会員は大阪府知事からシルバーアドバイザー（SA）の認定を受けて居り活動をしています。
- ・世代間交流修了生が講師になって四方山話をしながら以前学んだことを思い出し勉強をしています。
- ・早く安心して活動できる日を会員一同願っています。

⑦SA 八尾・柏原

・丸 悟子・・・何か役に立つことが有ればと 10 数年手伝いだけでたいした事も出来ず、参加する事に意義があると思いい、続けています。これからも出来る事を見つけて続けようと思っています。

・後藤 廣美・・・「出来る時に出来ることをお手伝いしてくれたらいいですよ」という先輩方の暖かい言葉に励まされ、今迄続けてこられた気がします。これからも無理をせずに、自分の出来る事を、皆さんと楽しみながら続けていけたらと想っています。

・水谷 澤子・・・入会して 6 年。地元の老人ホームで昭和の懐メロや唱歌を歌ったり、手指の運動やクイズで頭の体操をしたり、時には紙芝居を楽しんで頂く等、毎月の演目を工夫しています。アットホームな雰囲気、入所者様の笑顔と温和な職員の方とも触れ合え、私も心が和みます。活動の再開を楽しみに待っています。



⑧SA 東大阪

- 1 島野 純一：再開から二年会長、19 年ラクビー WC、大阪マラソンボランティアで世界の VIP 送迎とおもてなしでき母国と地元で役立て満足感を感じられました。
- 2 片山 憲一：再開から二年副会長、地区内の支援学校ボランティアに参加し、今後も参加したいと思っています
- 3 高間 新二：相撲甚句会（現在 7 名）年 2 回、甚句指導委員として生野、平野区民ホールで実施しておりました
- 4 川中 俊夫：地区内の支援学校の環境整備、ゲーム教室ボランティアに参加し、今後も参加したいと思っています
- 5 安田 澄子 聴覚ボランティアのノートテイク、支援学校のおもちゃ作りボランティアをしていました
- 6 下野 淑子 夏休みの小学校の学童保育時におもちゃ作り、実験のボランティアをしていました。

大阪府 SA 連協会員の声 南ブロック 1

①SA はびきの

SA 活動を始めて早 10 年が過ぎました。

SA 養成講座に通い始めて地域活動に関していろいろな活動をして居る人が居る事を知りましたし、友達もたくさん出来ました。

大阪府民があちらこちらから通うのでその地域に興味もわき、行動範囲も広がった私は同じボランティア活動をしている大阪の人と、すごく気が合い歌体操に力を入れました。老人ホーム訪問、地域のイベントにも参加しました。

いろいろな面で自分の身に付き、楽しい日々が送れ、精神的にも豊かな思い出が残っています。

SA はびきの 浅井秋美 (19 期修了生)

②SA 河内長野

少数会員の当会にあって、2 年前の「ニッセイ財団顕彰」の受賞、これは大変有難く乏しい財政で「会」運営が続いている折、会員一同、有難く感謝した。

近年有償ボランティアの言葉をとみに聞きます。
この時期 SA 連協も活動方針に取り入れてはどうか。

会議は（理事会 役員会）一貫して月次だが近年通信手法の進歩は顕著。会場まで箕面や南河内からは負担である。通信手法の活用で集まったの会議は減らせないか。地区会の活動の軸足は地域である。

SA 連協、連協の財政、一時期と比べ黒字基調とみた。
これは現理事長による率先したスポンサー確保のほか何物でもない。

③SA 藤井寺

SA 藤井寺に入会して 1 年ですが始めの動機は脳トレにお手玉が、集中心が続くので脳に良いと医学博士の中原和彦先生の話聞きお手玉を続けています。仲間も増えてお手玉、リフレッシュ体操などでボランティアに参加し心豊かになり毎日がたのしいです。

・梅木 ミサ子

友人に誘われリフレッシュ体操に参加させてもらって 3 年になります。初めは、如何いう集まりか全く知らなかった私ですが、スタッフの方の 明るさ、前向きな姿勢、心構えに、心、温まりました。皆様に支えてもらいながらこれからも活動に参加させてもらいたいと思っております。

・松生 眞美

ボランティアグループ SA 藤井寺所属のお手玉サークル “遊”に入会をしました。その後高齢者大学校講座に 2 年間受講しました。そしてお手玉サークル “遊”で活動しながら、リフレッシュ体操にも活動を広げました。SA 藤井寺の皆さんとボランティアの活動に参加し、活動する中で自分自身が元気を戴いて居ります。

・後藤知津子

南ブロック 2

④堺 SA

歌体操に携わって、歌体操のモットーである、寝たきりにならない、作らない、させないに加えて認知症予防のもと、楽しく、笑って、帰れる様に、心かけて自分自身も元気だと、充実した日々を送っています。コロナウイルスの為、殆どが中止となりその間練習を続けて、また会える日を楽しみにしております。
(井上一江 歌体操)

私は南部講座最後の卒業生です。色々な事を学び、仲間も沢山出来ボランティアで活躍しています。おもちゃ作りで子どもさんや高齢者様にはとても喜んでくれています。また、来てねと言われると嬉しくなります。今後も続けていきたいと思っております。

(山瀬政子 おもちゃ)

15年前に入会しておもちゃ作りを教えてもらい人生が変わりました。

地域のイベント・小学校での世代間交流・保育園行事支援等に行き大人・子ども達とのふれあい喜ぶ姿を見て楽しい時を過ごしています。

(赤澤房子 おもちゃ)

⑤いずみ SA

地域の老若男女問わずにコミュニケーションが取れたら(‘ω’)・・・で会員一同、頑張っております。私はまだまだ新入生ですが、いつの間にか仲間が一人二人減って活動が出来づらく、そして足腰が自由にできなくて歌体操への参加者も益々？です。子ども科学教室やおもちゃ作り(ものづくり・折り染)や、いきいき歌体操で施設へ訪問して皆さんと一緒に続けて行きたい事と、また必要とされるボランティア要請があれば(図書館・小学校での世代間交流・地域まつりなど)微力ながら続け、自分たちも笑顔で、地域で頑張っていきたいです。
・百々トミ子



大阪府SA連協新規事業（提案営業＝受託事業）報告

①SA 連協の大きな戦略・戦術課題となって居ります

- ・2019年度も成果が有りました、(SA 連協営業チラシ有り)

船場センター50周年記念イベント・ATC親と子どもおもちゃ教室・平和商事ものづくり教室、地区においても是非提案営業活動の計画を！

②キワニスは世界の子どもに奉仕することを目標に置いた団体です。

団体の行事のキワニス・ワンデイの活動

「出前科学実験教室」今後はこの実績で近畿圏にある神戸の他に大阪、西宮、芦屋、泉州のキワニスクラブに働きかけ、受託事業にこぎつけたい。

詳細 次ページ



神戸キワニスクラブ

*キワニス是世界の子どもに奉仕することを目標に置いた団体です。今回は、団体の行事のキワニス・ワンデイの活動での協力でした。約2年の交渉の結果、高大の事業部の協力で実施にこぎつけた「出前科学実験教室」でした。今後はこの実績で近畿圏にある神戸の他に大阪、西宮、芦屋、泉州のキワニスクラブに働きかけ、受託事業にこぎつけたい。会員及び受講生の皆様も過去多くの団体とのつながりをお持ちでしょうから子どもが喜ぶ出前が出来ます。



授業風景 ①アイスコーヒーの中にドライアイスを入れた時、
 ②湯の中にドライアイスを入れ蒸気の発生状況
 ③ドライアイスを空中に飛ばして発生した雲。



編集後記

30周年記念誌を発行するにあたって編集委員の思い。

平成2年（1990年）11支部268名の会員で発足したSA連協が、30周年を迎えました。20周年記念誌からの10年シルバー通信特集号とし成果、課題を纏めました。

15周年記念誌、20周年記念誌を再度読み各地区の歴史あゆみ、担当役員の苦労、継続への想いを熱く感じました。発刊にあたり課題である「人、物、金」を編集員で検討意見集約を行い「ワンチーム」として発足、地域福祉、社会貢献をテーマに企画しました。

シルバーアドバイザー連絡協議会登録19地区の（直近10年を中心に）各地区の歴史あゆみ取材、また、各地区での社会貢献活動における各施設の声を特集。各施設の感謝の声、励ましの声に意を強くしました。

反面、社会背景から「有償ボランティア」の内外への認識を急がねばと感じる30年でも有り課題（新入会員の対応、委託受業対応）は、大きな課題の一つ。

少子高齢社会、2025年問題高齢化対応避けられず、会員の減少も避けられない大きな課題の一つである。30周年記念特集号発刊が、更なるシルバーアドバイザー連絡協議会の発展と、大阪府、SA関連団体の期待に応える総意、力になれば幸いです。

最後に大阪府知事、大阪府高齢者大学校、大阪府区民・府民カレッジ、大阪府北部CC各理事長様には祝辞を戴き有り難うございました、重ねてお礼申し上げます。

（大川 正彦：記）

—編集委員—

大川正彦・中島英征・木場昭和子・下川順夫
笠原俊生・小川忠夫・元坂道幸・島野純一

発行日：2021年3月吉日

発行人：大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会

連絡先：大阪府中央区南新町1-3-11

高分子工学ビル303

TEL：090-1954-7237（新鞍理事長）

老化のせいと諦めないで！

NPO 法人オーソティックス・ソサエティー会員
日本靴医学会準会員・日本装具学会会員

- ・靴が合わない・フィットしない方
- ・足や膝関節、腰の痛みが良くならない
- ・前屈みで足が上がらず、良くつまずく
- ・ペタペタ足音がして、長時間歩けない
- ・靴や他のインソールで効果のなかった方



マスター・フットケアトレーナー
薬剤師 角倉 亘

～バランスの悪い歩き方・足の動き～が大きな原因です!! 関西で唯一の
独自のインソール製作技術!

痛みと変形の悪循環



- ・外反母趾、足裏、魚の目、タコ、足底腱膜炎（かかと）などの痛み
- ・足関節、膝関節、股関節の痛み、腰の痛みなど下肢の痛み
- ・足が上がらない、疲れやすい、ペタペタ足音がする、体が揺れるなど

※ご相談下さい!症状により健康保険適用で「靴やインソール」が製作可能です。



フットプリント、計測
足・足関節の状態、姿勢
の歪み、脚長差など問診



歩行の観察・評価、足・
膝・骨盤・頭・肩の動き、
身体の揺れなどを撮影記録



前記のデータを基に左右の
基本パッドの形状を決定し、
微調整を加え6割位に製作



靴に挿入し、「歩行と症状の
改善」を確認し、微調整を
繰り返しながら完成へ



foomarks フットマークス

〒547-0027 大阪市平野区喜連4-17-12

06-6700-1192

営業時間:10:00~18:00

定休日:毎水曜日、第1・3日曜日

